

R7年度院長BSCシート

病院名	がんセンター新潟病院 (記載20250401)															
ミッション	県民に広くがん医療を提供															
ビジョン	さらに高度・先進的ながん医療を提供できる体制をつくる															
運営方針	①がん医療の質の向上、②安全ながん医療の提供、③働き方改革															
戦略テーマ	収益向上、がん診療の機能強化															
	戦略マップ	戦略目標	重要成功要因(KPI、達成すべき成果目標)	業績評価指標	R04実績	R05目標	R05実績	R06目標	R06実績	R06達成見込	R07目標	アクションプラン(留意点:具体的に、「誰が」、「何を」、「いつまでに」を明確に記載)				
財務の視点		収益改善	がんのトータルケアの推進のため効率的な病院全体の運営。	病床利用率	71.7%	80.0%	72.9%	78.5%	73.9%	△	85% (312/367)	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営強化に向け、管理会議及び運営会議等で現状の課題等を共有し、具体的対策の立案を検討していく。</li> <li>【指標】①入院診療単価:70,000円、②病床利用率:85.0%、③平均在院日数:11.0日</li> <li>患者確保による診療収益の確保。</li> <li>DPC期間Ⅰでの退院症例については、期間Ⅱ退院でのバスの見直し。</li> <li>後発医薬品への切り替えによる薬品費の縮減と、後発医薬品使用体制加算Ⅰの安定した算定による収益増。</li> <li>診療材料について、共同購入の促進、調達業務委託化の適切な運用による費用削減。</li> <li>委託料などの業務内容の見直し、効率化の推進、長期契約の検討などにより、経費節減に務める。</li> </ul>				
				平均在院日数	11.9	12.0	11.5	11.0	11.1	○	11.0					
				医業収支比率(税抜)	88.5%	100.0%	89.3%	100.0%	87.1%	△	100.0%					
				一日平均診療単価(入院/外来)	入院66,154円 外来33,008円	入院66,000円 外来33,000円	入院68,049円 外来33,089円	入院69,000円 外来34,000円	入院69,546円 外来32,314円	△	入院70,000円 外来32,000円					
顧客の視点		顧客満足度の向上	患者満足度の向上	医療情報の提供と発信(HPアクセス数(ノ/日))	169,045	185,000	91,636	185,000	57,067	×	3,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院ホームページの活用と地域医療連携室だよりの継続発行(年4回)、診療科別リーフレットによる診療内容の紹介。</li> <li>デジタルサイネージからの情報発信を通じ、ホームページへのアクセス増を図る。</li> <li>※HPアクセスのカウント方法をR6.12から変更→R7目標はR7.1~3の実績数を参考に設定(アクセス数実績R7.1月2,629件、R7.2月2,713件、R7.3月2,762件)</li> <li>入院支援センター(PFM)の稼働を向上し、R7年度は前年度以上の実績を目標とする(R6実績3,777件)。患者総合サポートセンターとしてのさらなる機能強化を図る。</li> <li>完全紹介予約制について、関係医療機関や患者への周知の徹底</li> <li>病診連携・病病連携のPR(地域連携だより発行)</li> <li>地域医療機関への訪問の実施(オンライン訪問含む)</li> <li>地域連携講演会の実施</li> <li>※R7~紹介率から紹介割合に設定変更。</li> <li>紹介受診重点医療機関の指定に向け、更なる逆紹介を進める。</li> <li>30%(逆紹介患者数/(初診+再診算定件数)×1,000)以上を目標とし、初診料、外来診療料の減算を避ける。</li> <li>完全紹介予約制の徹底化により、再来患者数の抑制を図る。</li> <li>R7年度は、PET-CT装置を導入</li> <li>令和5年度 1,608件、稼働日数243日</li> <li>令和6年度 1,213件、稼働日数186日(令和6年12月末累計実績)</li> <li>紹介患者数を例年数に戻していく。</li> <li>緩和ケア専門病棟の高い利用率の維持</li> <li>予約制の拡充により、医師、患者ともスムーズに受診できる体制を取る。</li> <li>ホームページなどで効果的な周知を行い、受診者数の確保を図る。</li> <li>リーフレットやHP、デジタルサイネージなどにより診療内容等を積極的に発信し紹介患者数の増を目指す。(手術支援ロボットシステムなどによる低侵襲性手術の導入、HCUIにおける適切な術後管理の実施等)</li> <li>入院治療との併用運用により、適切な実施件数の確保と安全性の向上をめざす。14,000÷243日=57.6件/日</li> <li>高度精細放射線治療、IMRTの強化継続</li> <li>医療安全管理部門(専従の看護師、専任の医師、薬剤師を配置)の維持、事故等(全ての死亡事例)の報告の義務化を継続。</li> <li>より精緻な個別化医療としての遺伝性腫瘍に対するリスク低減予防手術(乳房切除、卵巣・卵管切除)や、乳房切除術、予防的卵巣卵管切除術の実施など、今後の需要増に対応すべく体制を強化していく。</li> <li>HBOCだけでなく、リンチ症候群やその他ゲノム検査等、幅広く対応していく。</li> <li>ホームページ等により、都道府県がん連携拠点病院としての機能を適切に発信する。</li> <li>※H7よりがんゲノム外来追加</li> <li>がんゲノム医療センターの体制を強化し、リキッド・バイオプシーの需要増に伴う遺伝子パネル検査数の増等に対応する。</li> <li>新潟大学医歯学総合病院との連携強化</li> <li>製薬会社職員の訪問活動等を適切に受け入れていく。</li> <li>がん薬物療法専門医等の専門・認定資格の取得、医師の増員、新専門医制度への準備、初期臨床研修病院の機能維持と県立病院臨床研修群への参加継続</li> <li>①年休5日取得遵守、②超過の縮減など勤務時間の短縮(効率的時間配分、出退勤時間の把握)、③会議時間の1割短縮(効率的会議の運営、事前資料配布)④育児・介護と両立できる勤務環境への取組(復職支援など)、⑤職場ストレスの軽減(ストレスチェック組織分析結果の活用)、⑥ハラスメントのない職場づくりに取り組む。</li> <li>部門長にメール等で現状を把握してもらい、業務の効率化を図ってもらう。</li> </ul>				
				安全・安心な看護体制	7:1	7:1	7:1	7:1	7:1	○	7:1					
				外来患者に占める紹介患者の増加(紹介率)	85.0%	90.0%	84.7%	85.0%	83.9%	△	削除					
				“(紹介割合)”	51.0%	—	48.1%	—	49.3%	—	50%以上					
				内部プロセスの視点		がん診療連携拠点病院の機能充実	連携診療所・病院の満足度向上	紹介受診重点医療機関の指定に向けた「逆紹介割合30.0%」の取組	20.9%	20%以上	21.6%		30%以上	25.1%	△	30%以上
								高度診療・診断機器の導入(導入件数)	2	1	1		1	1	○	1
								PET/CT検査件数(ノ/日)	7.2件/日	9件/日	6.6件/日		9件/日	6.5件	×	9件/日
								緩和ケア外来受診患者数	7,063人	6,800人	7,091人		6,800人	7,858件	○	6,800人
				学習と成長の視点		人材、組織、情報システムの重視	人材の計画的な確保と育成	がん予防総合センター受診者数	4,008人	5,000人	3,519人		4,400人	3,311人	×	4,400人
								がん手術件数	2,190件	2,500件	2,200件		2,200件	2,137人	△	2,200件
外来化学療法実施件数(ノ/日)	56.7件	56件	56.8件					56件	53.7件	△	58件					
放射線治療件数	53,326件	52,000件	56,155件					52,000件	51,170件	△	52,000件					
医療安全体制の強化(インシデント・アクシデント報告件数)	3,492件	3,000件	3,598件					3,000件	3,271件	×	3,000件					
遺伝カウンセリング外来、遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)外来、がんゲノム外来	83件	80件	73件					80件	122件	○	120件					
学習と成長の視点		人材、組織、情報システムの重視	人材の計画的な確保と育成	遺伝子パネル検査件数	81件	90件	93件	90件	84件	△	100件					
				臨床試験件数(医師主導治療、企業治験等)	25件	前年度より増加	28件	前年度より増加	33件	○	36件					
				専門医等の指定・認定数	261	250	276	250	275	○	250					
学習と成長の視点		人材、組織、情報システムの重視	人材の計画的な確保と育成	働き方改革(病院全体の36違反の減)	729	前年度未満	498	前年度未満	955件	×	前年度未満					

注 1 病床利用率は、平成31年1月までは450床、2月から421床、令和2年10月から404床を分母として計算

2 高度先進医療機器は、定価1億円以上のものを対象とする。

3 医業収支比率は、局費用配分後の税抜き医業収益を医業費用で除した比率

4 がん手術件数は、件数調査統計で、入院患者の手術のうち「悪性腫瘍」の手術件数

5 専門医等の指定・認定数は、医師・薬剤師・看護師のがん関係の資格とする。